

平成 20 年度事務事業評価表(内部管理業務)

①事務事業名		担当部課	部課コード	010700	TEL	2998-9048
事業コード	労働安全衛生事業	総合政策部 職員課				
010712		グループ	厚生担当			

総合計画の体系	政策	第8章 計画の推進に向けて	施策	3節 行政運営	中柱	2 組織の活性化	小柱	(5) 職員の安全衛生の充実
---------	----	---------------	----	---------	----	----------	----	----------------

行政改革大綱における行動計画への位置づけ

コード		コード		コード	
-----	--	-----	--	-----	--

目的(何のために行うのか、具体的に)

職場における職員の安全と健康を確保し、快適な職場環境の形成を促進すること。

②事業の内容	対象(誰を、何を対象としているのか)	対象数	単位	平成 18 年度	2249	人
	全職員(消防、水道職員を除く)			平成 19 年度	2222	人

業務の具体的な内容及び実施方法

公務災害の防止と快適な職場環境の形成を図るため、4つの組織ごとに管理規程を設けて、13の安全衛生委員会を設置(消防・水道を除くと11)しており、月に1回委員会を開催している。また、各安全衛生委員会の共通事項について調整を図ることを目的に、11の安全衛生委員会の代表者からなる中央安全衛生委員会を年2回開催しており、同委員会主催による健康管理講習会を年1回開催している。

H コストの見直し 大きい 少ない ほとんどない 実施過程の見直し 大きい 少ない ほとんどない

19 20年度予算の方向性 現状どおり 増額 減額 終了

評価 平成19年度中に改善した点

市長部局本庁舎等安全衛生委員会において、市庁舎の喫煙場所・時間について審議し、地下の喫煙場所を1ヶ所に統合する等、分煙化を進めた。

③経費	<会計種別>	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)
	当初予算		116	92	92
	決算(見込み含む)		2	50	
	含む人件費(嘱託職員)(臨時職員)	(人)	(人)	(人)	(人)
	正規職員人件費		0.75 人 6,900	0.65 人 6,106	
	事業費合計		6,902	6,156	
	市民一人当たり(単位:円)		20.4	18.2	

④指	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H20見込み	将来目標
活動実績	市長部局安全衛生委員会の開催回数		回	12	12	12	12
	ニュースの発行回数		回	3	3	3	4
成果分析	公務災害及び通勤災害発生件数	H15年度の発生件数を基準に毎年5%ずつ減少させる。	%	目標値	48	45	42
			%	実績	57	47	
			%	達成率	84.2	95.7	

実績値の拡大を図る1	2
実績値の縮小を図る2	

評価項目	見直しの必要性	評価理由及び対応策
コストの見直し	<input type="checkbox"/> 大きい <input type="checkbox"/> 少ない <input checked="" type="checkbox"/> ほとんどない	予算規模が小さいため。
実施過程の見直し	<input type="checkbox"/> 大きい <input checked="" type="checkbox"/> 少ない <input type="checkbox"/> ほとんどない	月1回の安全衛生委員会を開催し、快適な職場環境に努めている。

業務を進めていくうえでの課題

公務災害防止や快適な職場環境の形成は、職員一人一人の意識が重要である。このため、各安全衛生委員会は活発に活動を続ける必要がある。

今期目標項目(何を)	達成水準(どこまで)	時期(いつまで)
平成20年度における目標設定 公務災害及び通勤災害の発生件数	平成19年度に比して5%減少させる。	20年度中

21年度予算の方向性 現状どおり 増額 減額 終了

昨年度の評価結果及び上記評価による、今後の業務の進め方

公務災害及び通勤災害の件数については、前年度に比べると10件減少したものの目標値より2件多かった。今後も、職場環境の整備と職員の意識向上のため、各安全衛生委員会において継続的な取り組みを行い、ニュース等による職員への周知も強化する。

評価日 平成20年5月15日 記入者職氏名 職員担当参事 平野 澄彦

⑥環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し	計画コード	
施策の体系	施策の方向		